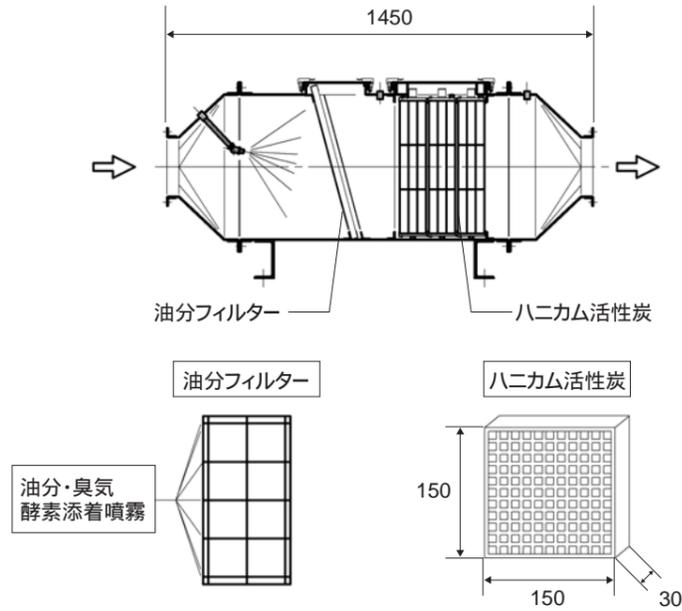


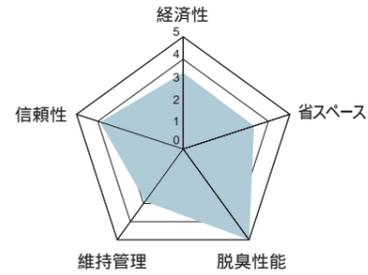
08

三菱重工環境エンジニアリング株式会社 「エコ・デオド」

【概略フロー】



【評価チャート】



【適用可能業種】(*最適業種)

飲食店*

装置の概要

本装置は油分フィルター、ハニカム活性炭、油分臭気分解酵素を組み合わせた脱臭装置で、油分フィルターでオイルミストを除去・低減したのち、ハニカム状活性炭と酵素で脱臭を行う。酵素を油分フィルターに定期的に噴霧することにより、オイルミスト及び臭気の除去効率の向上を図っている。

特徴

特に環境への二次影響の恐れはない。ハニカム活性炭は業者にて回収し、リサイクル利用される。使用するの電のみであるため、安全性について特に問題はない。日常点検として、油分フィルターや酵素噴霧器のチェックを行う。

総合評価

活性炭吸着を基礎とした除去装置である。飲食店ではオイルミストが多いところもあり、活性炭に付着して寿命を低下させるが、前段に油分フィルターを設置してオイルミストを除去し、これに分解酵素を噴霧することにより油の分解を行って長寿命化を図っている。臭気除去では信頼性の高い活性炭を用いた技術ではあるが、本装置としては開発されたばかりで実績が少なく、発生源の实情に応じて、酵素液の噴霧量や活性炭充填量、交換頻度などの諸元がより明確にされることが急務ではある。

業種(*最適業種) 臭質 想定臭気指数	飲食店(レストラン)* 調理臭 (15)
主な仕様	
処理風量(m ³ /分)	12
型式名	活性炭吸着式
寸法 W×D×H(mm)	最大600×600×1,450
重量(kg)	約100
材質	ステンレス(SUS304)
操作条件(圧力損失など)	圧力損失200Pa
稼働条件(時間/日、日/月)	条件なし
電源(V)	100
消費電力(kW)	0.1
電気使用量(kWh/月)	0.1
ガス使用量(m ³ /月)	-
水道使用量(m ³ /月)	-
施工性	
設置場所	屋外、屋上
必要スペース W×D×H(mm)	取替スペースを含め 650×1,500×1,600
経済性	
イニシャルコスト(円) (ファン込み価格)	700,000~900,000 (800,000~1,000,000)
基本ユニット構成	油分フィルター、ハニカム活性炭、酵素噴霧器
表示価格	実勢価格
設置工事費(円)	200,000~300,000
ランニングコスト(円/年)	100,000~200,000
消耗品	ハニカム活性炭、酵素液
脱臭性能	
実測調査結果	測定業種:レストラン厨房 臭気濃度:790 10未満 脱臭効率:98%以上
メーカー提示情報	メーカー保証値:脱臭効率90%以上 実測値:レストラン厨房 臭気濃度:790 32 脱臭効率:96%

問い合わせ対応窓口

株式会社エコ・ワークス

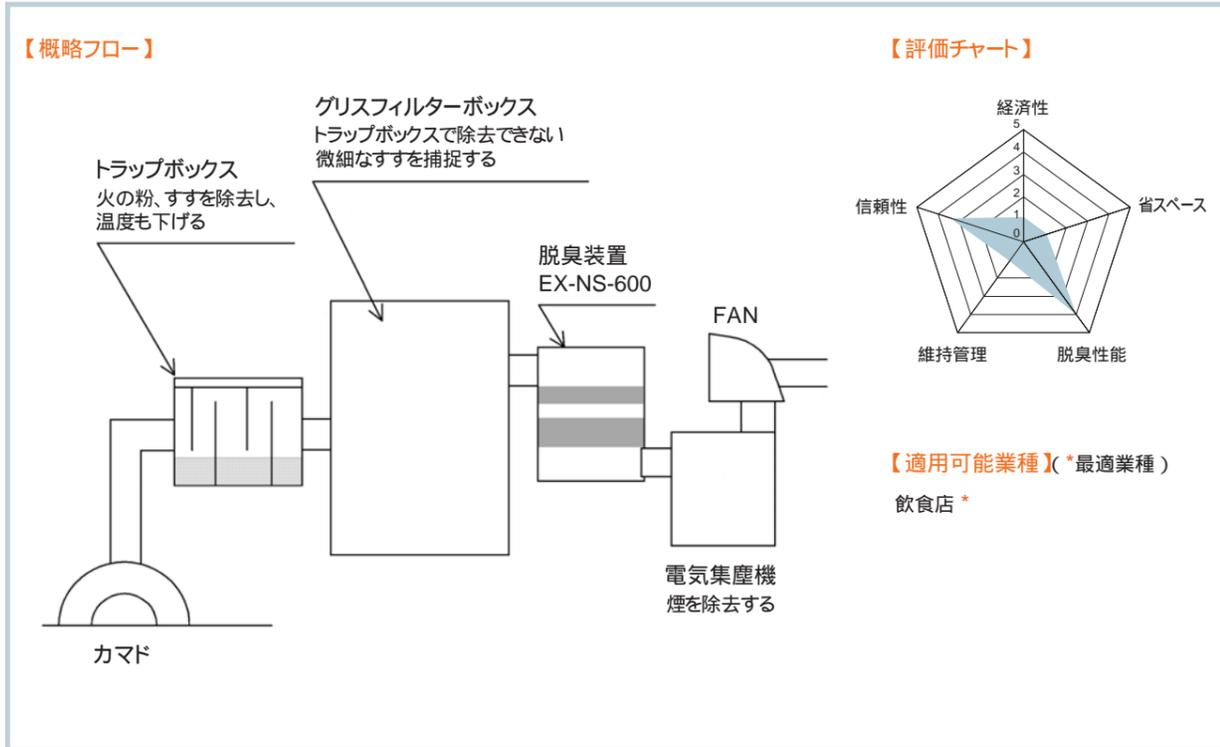
東京都文京区本郷5-25-13 TEL&FAX:03-3815-9738 大阪市北区東天満2-8-1 TEL:06-6351-6040 / FAX:06-6351-6041

三菱重工環境エンジニアリング株式会社 兵庫県神戸市兵庫区和田宮通5-4-1 TEL:078-672-5456 / FAX:078-671-6668

和利工業株式会社 兵庫県尼崎市次屋3-11-21 TEL:06-6499-3428 / FAX:06-6499-2336

09

株式会社エルク 「EX-NSシステム」



装置の概要

本装置は、すすや煙が多量に発生する薪を燃料とする火気設備に対応した脱臭装置である。すすは、水を封入したトラップボックス、GRSフィルターボックスにより除去される。粒径の細かい煙は電気集塵機により除去される。臭気レベルは、脱臭装置内の脱臭フィルター(活性炭を充填したもの)により低減される。

特徴

薪の場合火の粉が出るため、火災防止上、排出口の位置などに注意を要するが、本設備の場合、水を封入したトラップボックスが前段にあるため、安全性は高い。

GRSフィルターは、メーカーが1週間に1度交換する。同時に脱臭装置、電気集塵機の点検を行い、状況に応じて脱臭フィルターの交換、電気集塵機の洗浄を行う。交換したGRSフィルターはメーカーにより洗浄される。

総合評価

本装置は、ピザ店など薪を燃料とする火気設備を有する飲食店向けであり、対象は限定的である。薪を燃やすとにおいととも火の粉や大量のすすが発生するが、これらを水を封入したトラップボックス、GRSフィルター、脱臭装置(活性炭)、電気集塵機で除去するものである。

GRSフィルターや脱臭フィルターの構造は隙間を少なくするなど効率を高める配慮がなされており、適切なメンテナンスが行われていれば、脱臭、集塵性能は期待できる。

一方、本装置が導入されている事業場ではかなり大量のすすなどが発生しているため、トラップボックスや電気集塵機の清掃やフィルターの交換など頻繁なメンテナンスが必要となっており、ランニングコストも高価になっている。また、電気集塵機が脱臭装置の後に設置されているのは、脱臭装置の前だと汚れがひどくなるためとのことだが、それだけ脱臭フィルターの交換頻度は高くなると考えられる。

現時点では、本装置を必要とする店舗自体が少なく実績も少ないが、今後フィルターの交換頻度の改善やメンテナンスの容易化などの工夫が期待される。

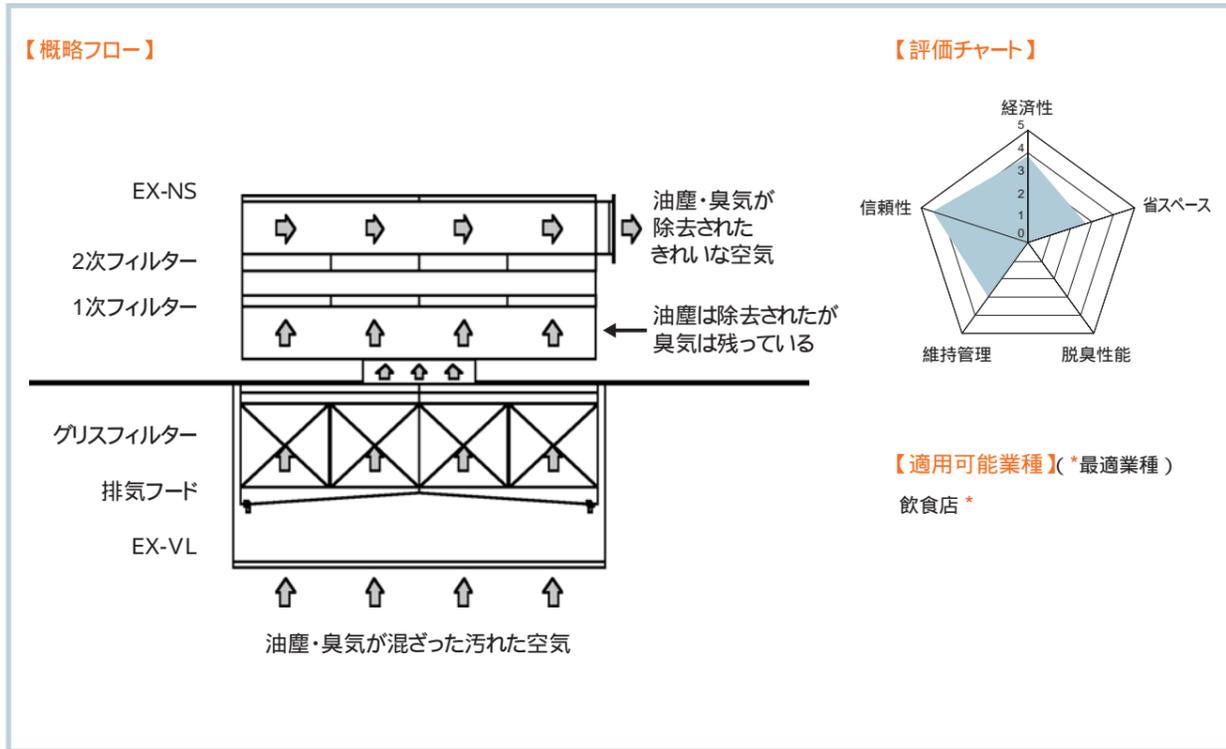
業種(*最適業種) 臭質 想定臭気指数	飲食店* 焦げ臭 (30)
主な仕様	
処理風量(m ³ /分)	20
型式名	EX-NSシステム
寸法 W×D×H(mm)	810×5,300×1,600
重量(kg)	490
材質	ステンレス(SUS304・SS400)
操作条件(圧力損失など)	圧力損失500Pa
稼働条件(時間/日、日/月)	8時間/日 30日/月
電源(V)	200
消費電力(kW)	0.445
電気使用量(kWh/月)	106.8
ガス使用量(m ³ /月)	-
水道使用量(m ³ /月)	0.5
施工性	
設置場所	機械室
必要スペース W×D×H(mm)	1,000×5,300×1,600
経済性	
イニシャルコスト(円) (ファン込み価格)	2,160,000 (2,200,000)
基本ユニット構成	トラップボックス、フィルターボックス、 脱臭装置、電気集塵機
表示価格	実勢価格
設置工事費(円)	200,000
ランニングコスト(円/年)	3,822,156
消耗品	GRSフィルター、脱臭フィルター
脱臭性能	
実測調査結果	測定業種:ピザ用かまど排気 臭気濃度:2,500 160 脱臭効率94%
メーカー提示情報	メーカー保証値:脱臭効率90%以上 実測値:データなし

問い合わせ対応窓口

株式会社エルク EX-NSシステム事業部
〒160-0004 東京都新宿区四谷2-8 藤井ビル3F
TEL:03-5379-1543 / FAX:03-5379-1696

10

株式会社エルク 「EX - NSシステム」



装置の概要 不燃触媒活性炭を使用した脱臭フィルターを通すことにより、臭気を吸着除去するとともに分解効果も狙っている。また、脱臭装置内にオイルミストが混入することを防止するため、装置前にステンレス製グリスフィルターを組み込み、オイルミストの97%以上(メーカー提示値)を除去している。

特徴 本装置に使用されているグリスフィルターは、ダクトへ混入するオイルミストの大半を除去するため、厨房火災の炎がダクトへ侵入してもダクト火災にいたることが少なく、安全性が高いといえる。また、活性炭が不燃性であるため、同様の装置に比べて厨房火災発生時の安全性は高いものと考えられる。高濃度の臭気に適用する場合には、一般に活性炭の寿命は短くなる。本装置の持続性についてのバックデータはないものの、吸着剤が触媒機能も有しており、メーカーが5年間の性能保証を行っていることから、適正なメンテナンスにより性能の維持が望めるものと思われる。

総合評価 本装置は使用している吸着剤が不燃性であるため、屋内設置が可能である。装置自体はやや大型であり、計画時の設計折り込みには適するが、苦情発生時の対応の場合は設置スペースの確保が困難になることがある。コンパクト化とコスト低減が今後の課題である。また、メーカーは実際の設置現場における脱臭性能データを蓄積し、臭質による吸着剤の適性、不適性を把握することが重要である。

業種(*最適業種) 臭質 想定臭気指数	飲食店* ニンニク臭 (40)	飲食店 油臭 (40)	飲食店 油臭 (40)
主な仕様			
処理風量(m ³ /分)	20	50	160
型式名	EX-NS-1200	EX-NS-3000	EX-NS-9600
寸法 WxDxH(mm)	1,100×1,068×1,450	2,600×1,010×1,450	4,100×2,014×1,600
重量(kg)	125	310	1,300
材質	ステンレス(SUS304、一部SUS310S耐熱ステンレス)		
操作条件(圧力損失など)	特になし		
稼働条件(時間/日、日/月)	11時間/日 25日/月		
電源(V)	200		
消費電力(kW)	0.37	1.5	3.7
電気使用量(kWh/月)	102	412	1,017
ガス使用量(m ³ /月)	-	-	-
水道使用量(m ³ /月)	-	-	-
施工性			
設置場所	店舗屋上	フード直上の天井裏	天井裏
必要スペース WxDxH(mm)	1,100×1,070×2,050	2,600×1,010×2,050	4,100×2,020×2,200
経済性			
イニシャルコスト(円) (ファン込み価格)	1,204,000 (1,234,000)	3,010,000 (3,090,000)	9,632,000 (9,812,000)
基本ユニット構成(排気ファンは除く)	グリスフィルター、グリスフィルターケーシング、装置本体		
表示価格	実勢価格		
設置工事費(円)	100,000~300,000	200,000~500,000	400,000~900,000
ランニングコスト(円/年)	96,000	240,000	768,000
消耗品	グリスフィルター、脱臭フィルター		
脱臭性能			
メーカー提示情報	メーカー保証値:脱臭効率90~99%以上 実測値:飲食店 臭気濃度410 31 脱臭効率92%		

問い合わせ対応窓口
株式会社エルク EX - NS事業部
〒160-0004 東京都新宿区四谷2-8 藤井ビル3F
TEL:03-5379-1546 / FAX:03-5379-1696

11

東洋興商株式会社

光触媒「PCF・M(ピーシーエフ・エム)」

【概略フロー】

【評価チャート】

【適用可能業種】(*最適業種)

飲食店*
 食料品製造工場
 排水処理工程(除害施設)

脱臭装置断面図 (Labels: 入口, 出口, グリスフィルター, 光触媒カートリッジ, ブラックライト(20W))

光触媒カートリッジ断面図

装置の概要

フィルター表面の酸化チタンに紫外線を照射すると、強力な酸化力を持つ水酸基ラジカル(・OH)が生成される。酸化チタン表面に接触した臭気成分の中で、有機化合物(アルデヒド類など)は水と二酸化炭素にまで分解され、一方、硫黄含有化合物(硫化水素など)は、硫酸イオンのような揮発しない成分にまで酸化され、酸化チタン表面上に蓄積される。これらの無機イオンは表面洗浄により除去することが可能である。

特徴

グリスフィルターや光触媒フィルターの洗浄に用いた浸漬洗浄水は、専用グリストラップを通過後、排水が可能。中小規模事業場における通常排水として取り扱い可能なレベル(メーカー提示情報)。紫外線ランプの廃棄については、水銀などの回収・適正処理は専門業者に委託(ユーザー実施)。光触媒フィルターはメーカーにより再生加工される。

総合評価

本装置は、グリスフィルターを前処理として紫外線照射・光触媒分解方式による脱臭装置である。小風量から大風量まで装置設計が可能であるが、現段階では大規模店舗(100m³/分以上)への納入実績が多い。光触媒ユニットにおける処理性能は、触媒部と臭気ガスとの接触時間が限られているため、格段に高い除去率の達成は現段階では困難であるが、メーカー提示の90%前後の除去性能は、グリスフィルターによるオイルミストなどの十分な除去を行えば達成可能と考えられる。また、グリスフィルターでの油煙除去効率が光触媒ユニットの性能及びその持続性に影響するため、グリスフィルターのこまめな点検・交換が必要である。装置自体はコンパクトに設計されており、ランニングコストも同様の原理をもつ装置の中では比較的low額である。安全性、環境への二次影響などについても特段の問題はない。現段階では、油煙を含むこげ臭などの小規模・高濃度発生源への適用性に関するデータの蓄積と提供が望まれる。

業種(*最適業種)	飲食店*	飲食店	飲食店
臭質 想定臭気指数	油臭 (40)	香料臭 (40)	イースト菌臭 (40)
主な仕様			
処理風量(m ³ /分)	15	40	167
型式名	PCF-B-1 (試作中)	PCF-4-2 (カートリッジ2個型)	PCF-8
寸法 W×D×H(mm)	90×670×600	900×1,400×1,450	1,570×2,200×1,450
重量(kg)	30	570	870
材質	装置本体:一般冷間圧延鋼板 カートリッジ:ステンレス(SUS304) グリスフィルター:アルミ繊維マイクロファイバー		
操作条件(圧力損失など)	圧力損失100Pa 通過面速1.0~1.3m/s		
稼働条件(時間/日、日/月)	10時間/日 30日/月		
電源(V)	AC100		
消費電力(kW)	0.15	0.3	1.2
電気使用量(kWh/月)	45	90	360
ガス使用量(m ³ /月)	-	-	-
水道使用量(m ³ /月)	0.05	0.08	0.32
施工性			
設置場所	屋内、屋外		
必要スペース W×D×H(mm)	700×700×700	2,700×1,400×1,450	両側扉型 3,570×2,200×1,450 排出口扉型 1,570×3,200×1,450
経済性			
イニシャルコスト(円) (ファン込み価格)	980,000(想定) (1,180,000)	4,480,000 (4,680,000)	8,400,000 (8,850,000)
基本ユニット構成(排気ファンは除く)	装置本体、グリスフィルター1枚	装置本体、グリスフィルター2枚	装置本体、グリスフィルター8枚
表示価格	標準価格		
設置工事費(円)	100,000~300,000(想定)	300,000~600,000	400,000~800,000
ランニングコスト(円/年)	16,425(想定)	29,725	132,400
消耗品	グリスフィルター、紫外線ランプ、ソケット、安定器		
脱臭性能			
メーカー提示情報	メーカー期待値:脱臭効率90%前後 実測値:食堂厨房 臭気濃度3,100 170 脱臭効率95% 惣菜作業室 臭気濃度1,300 98 脱臭効率92%		

問い合わせ対応窓口

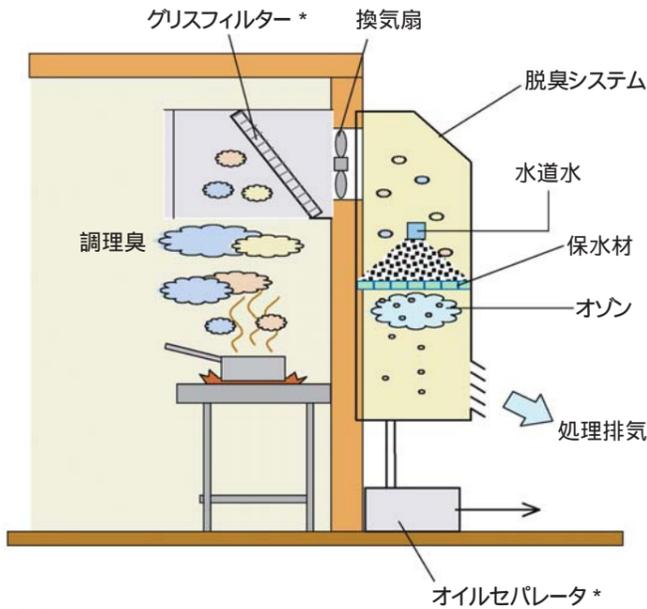
東洋興商株式会社
 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-35-7 島鶴ビル
 TEL:03-3662-5644 / FAX:03-3662-6339 / E-mail:toukou99@peach.ocn.ne.jp

12

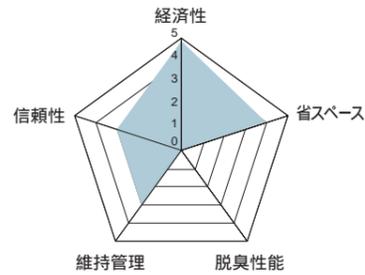
東急車輛製造株式会社

店舗排気脱臭システム「ハイキクリーン」

【概略フロー】



【評価チャート】



【適用可能業種】(*最適業種)

- 飲食店*
- 食料品店
- 食料品製造工場

*本体価格外

装置の概要

水ミストと保水材により排気温度を下げ、排気中の油分及び水溶性の臭気成分を水にトラップする。次に、残った臭気をオゾンの酸化力により臭気の弱い物質に酸化分解して脱臭効果を得る。

特徴

耐用年数は10年であるが、この数値はメーカー提示の値であり、オゾンの発生により腐食が促進される恐れもあるため、状況によっては部分的な補修や部品交換が必要と思われる。
 オゾンは反応性が高く、空気中で速やかに分解して酸素へと変化する。また、全機種に漏電遮断器をつけているため、電気トラブルの心配は少ない。このため、安全面で特に問題はないと思われる。さらに、一部の大型機種にはオゾン発生器異常検出機能がつけられている。
 薬剤を使用しないシステムであるため、副生成物などによる環境への二次影響の心配はないと思われる。ただし、排水は排気中から除去した油分を含んでいるため、グリストラップへ排水するか、もしくはオイルセパレータで処理する必要がある。

総合評価

本装置は、前処理と脱臭処理が一体化されたコンパクトな装置であり、比較的省スペースで施工性に優れている。インシヤルコストも比較的安価であるため、中小規模の油煙を含む臭気を発生する飲食店舗に対して、技術的適用可能性が高いと考えられる。
 脱臭性能に関しては、オゾン酸化がどの程度脱臭機能向上に寄与しているかの確認試験データが明示されていないため、正確な脱臭機能評価はできない。提示された資料から計算すると、オゾン濃度は0.15~0.3ppmと低く、接触反応時間も0.2秒程度と短いため、オゾンによる脱臭効果は十分ではないと考えられる。
 維持管理の面では廃液が出るため、グリストラップの清掃を頻度高く行う必要があると思われる。また、吸引ファンの異常音や吸引風量のチェックを日常的に行う必要がある。

業種(*最適業種) 臭質 想定臭気指数	飲食店* 油臭 (40)	飲食店 油臭 (40)	飲食店 油臭 (40)
主な仕様			
処理風量(m³/分)	33	50	62×2
型式名	OZN-3G-20F	OZN-6G-30F	OZN-6G-40F 2基
寸法 W×D×H(mm)	410×270×1,200	800×380×1,452	1,400×1,150×1,978
重量(kg)	25	55	220×2
材質	ステンレス(SUS304)		
操作条件(圧力損失など)	排気機器と連動 圧力損失150Pa(定格時)		排気機器と連動 圧力損失90Pa(定格時)
稼働条件(時間/日、日/月)	8時間/日 30日/月		
電源(V)	100		
消費電力(kW)	0.12	0.25	0.3×2
電気使用量(kWh/月)	28.8	60	144
ガス使用量(m³/月)	-	-	-
水道使用量(m³/月)	14.4		14.4×2
施工性			
設置場所	壁面、排出口		据え置き
必要スペース W×D×H(mm)	600×1,000×1,700	800×1,100×2,000	1,400×3,700×2,000
経済性			
インシヤルコスト(円)	500,000	900,000	4,200,000
基本ユニット構成(排気ファンは除く)	装置本体		
表示価格	実勢価格		
設置工事費(円)	100,000~200,000	150,000~300,000	300,000~500,000
ランニングコスト(円/年)	88,000	133,000	272,000
消耗品	保水材		
脱臭性能			
メーカー提示情報	メーカー保証値:脱臭効率70%程度 実測値:食品加工工場 臭気濃度3,200 400 脱臭効率88% 弁当調理店 臭気濃度1,700 170 脱臭効率90%		

問い合わせ対応窓口

東急車輛製造株式会社 車両事業部 サービス・エンジニアリング部
 TEL:03-5431-1067

13

株式会社シルクインダストリー フィルター式油煙除去・脱臭装置「シルクコマンダー」

【概略フロー】

屋上床置きタイプ

無煙ロースター接続の事例
シルクコマンダー FA01-H

天井吊りタイプ

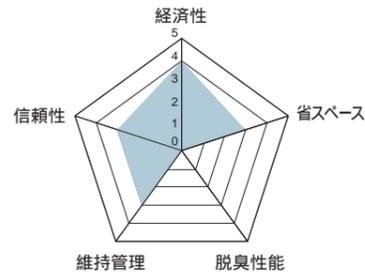
フードより中間接続の事例
シルクコマンダー FA01-C

スタンドタイプ

無煙ロースター接続の事例
シルクコマンダー FA01-S

注:本図では省略しておりますが、各装置は排風機に接続され使用されます。

【評価チャート】



【適用可能業種】(*最適業種)

飲食店*
食料品製造工場

装置の概要

3種の吸着フィルターを用い、厨房からの調理排気をフィルターで除去・脱臭する。最初に油煙をプレ・メイン2種のフィルターで捕集し、油吸着により臭気を低減させ、続いて、バックフィルターに臭気成分を吸着し、ファンで排気している。

特徴

既存設備に排気ダクトと排風機がある場合、ダクトの中間部に本体を接続できる。排風機に必要な静圧能力が不足している場合は、排風機の交換が必要となることがある。新設の場合についても、現場状況に応じ対応している。
新型のフィルターを開発した場合でも、既存設備に設置できるよう配慮している。
日常点検としては、フィルター交換時期を知るためのフード部の吸引状態の確認程度である。

総合評価

本装置は、パッケージ型であるため、施工性が良い。また、比較的小型であるため設置スペースが小さくてすむ利点があり、小型の装置については天井吊り仕様もあることから、小規模の店舗に向いているようである。メーカーが効率的な新型のフィルターを開発した場合でも、既存の本体に対応できるように配慮されている。パッケージにはプレフィルターも組み込まれており、発生源から本体までのダクトを短くできれば高い除去効率を得られそうである。一方、発生源から装置までのダクトが長くなった場合は、発生源のフード部にグリスキャッチャーを取り付けるなどの工夫をすればフィルターの寿命も長くなる。実績ではフィルターの寿命が1~2ヶ月であるため、可能であれば設置場所として容易にメンテナンスできる場所を選定して導入し、ユーザー自身でフィルター交換できるようにしたほうが維持費は安くなる。

業種(*最適業種) 臭質 想定臭気指数	飲食店* 焼肉臭 (40)	飲食店 焼肉臭 (40)	飲食店 焼肉臭 (40)
主な仕様			
処理風量(m ³ /分)	30	60	120
型式名	FA-01	FA-05	FA-10
寸法 W×D×H(mm)	縦型 663×666×1,805 横型 1,730×666×741	縦型 1,330×666×1,805 横型 1,730×666×1,405	縦型(架台付き) 1,364×1,356×2,280
重量(kg)	85	150	250
材質	筐体:鋼板黒焼付塗装 フィルター枠:ステンレス又はアルミニウム フィルターろ材:有機繊維不織布		
操作条件(圧力損失など)	機外静圧480Pa 空間速度(面風速)1.4m/s 排気ファンは別途必要		
稼働条件(時間/日、日/月)	8時間/日 26日/月		
電源(V)	200(3相:外部排気ファン用)		
消費電力(kW)	1.5	2.2	3.7
電気使用量(kWh/月)	312	458	770
ガス使用量(m ³ /月)	-	-	-
水道使用量(m ³ /月)	-	-	-
施工性			
設置場所	屋根上、屋外壁面、屋内壁面など(ただし、設置場所にある程度の強度は必要)		
必要スペース W×D×H(mm)	縦型 663×1,666×1,805 横型 1,730×1,666×741	縦型 1,330×1,666×1,805 横型 1,730×1,666×1,405	縦型 1,364×2,356×2,280
経済性			
イニシャルコスト(円) (ファン込み価格)	700,000 (850,000)	1,200,000 (1,400,000)	2,700,000 (2,950,000)
基本ユニット構成(排気ファンは除く)	装置本体		
表示価格	メーカー希望価格		
設置工事費(円)	50,000~100,000 (現場状況により、別途要見積)	100,000~150,000 (現場状況により、別途要見積)	150,000~200,000 (現場状況により、別途要見積)
ランニングコスト(円/年)	120,000~240,000	240,000~480,000	480,000~960,000
消耗品	プレフィルター、メインフィルター、バックフィルター		
脱臭性能			
メーカー提示情報	メーカー保証値:脱臭効率70%程度(においセンサー値) 実測値:焼肉店 臭気濃度3,100 980 脱臭効率68%		

問い合わせ対応窓口

株式会社シルクインダストリー

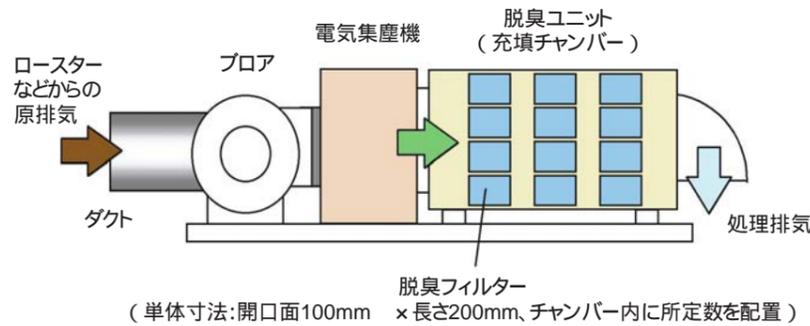
〒570-0043 大阪府守口市南寺方東通5-5-5
TEL:06-6997-5469 / FAX:06-6997-5461 / E-mail:wasso@silk-industry.co.jp <http://www.silk-industry.co.jp>

14

神鋼アクテック株式会社

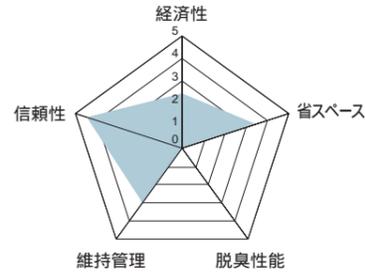
厨房排気用脱臭フィルター「KDH」

【概略フロー】



1. ブロア：静圧などの点で十分な能力のある既存据付品があれば流用可能
2. 電気集塵機：油煙除去用前処理装置として使用
3. 脱臭ユニット：鋼製の充填チャンパーに所定数の脱臭フィルター(標準は3層構成)を配置
各機器を共通フレームに搭載した、施工容易な一体型ユニットとして供給が可能
電気集塵機と脱臭ユニットは、ブロアの吸引側、吐出側のいずれにも設置が可能
オイルミストが多い場合には、調理フードにグリスフィルターの設置が必要

【評価チャート】



【適用可能業種】(*最適業種)

飲食店*

装置の概要

無機系吸着剤と金属酸化物触媒を主成分とするハニカム(蜂の巣)状の脱臭フィルターに常温で調理排気を通過し、臭気高負荷時に臭気成分を吸着捕捉し、低負荷時に脱離させることにより排出口臭気を低レベルで平準化する。また触媒分解作用によって、吸着捕捉した臭気分子・油分を低臭・無臭成分として放出する。さらに、物理的衝突で捕捉したオイルミストを内部まで浸透吸収する。焼肉店などの油煙を含む調理排気に適用する場合には、脱臭フィルターの前段に電気集塵機を設置して前処理を行い、フィルターの長寿命化を図るものである。

メーカー提示の情報では、一部の含硫黄系化合物を触媒として、臭気成分を反応固定化している。

特徴

油煙をそれほど多く含まない臭気に適用する場合、電気集塵機を除いた仕様も可能である。
脱臭フィルターは、メーカー側で回収・加熱することにより、数回の再生使用が可能である(ラボ試験にて確認済)。フィルターの耐用年数は、再生後の使用も含めて3~4年であり、再生フィルターの性能回復率は95~98%(メーカー提示値)としている。
脱臭ユニット部は動力、熱源、水などが不要であり、騒音・振動の発生や排水処理の必要がない。(ただし、電気集塵機を用いる場合は電気が必要)

総合評価

本装置は、基本的に電気集塵機と脱臭ブロックを一体として使用することを特徴としたものであり、安全性・環境への二次影響も少ないものであることから、現在脱臭装置を備えていない店舗には、別の装置の追加を考慮する必要が少なく、適用の可能性は高いものと考えられる。
ただし、定常的に高濃度の臭気が発生する場合には臭気を平準化できないことも考えられ、処理前ガスの性状の確認を要す。
ランニングコストの計算においては、耐用年数をメーカー提示の3年とし、交換工賃・電気集塵機メンテナンス費を含み、定期検査費用は含まれていないことに留意して他の装置と比較されたい。

業種(*最適業種) 臭質 想定臭気指数	飲食店* 焼肉臭 (40)	飲食店 焼肉臭 (40)	飲食店 焼肉臭 (40)
主な仕様			
処理風量(m ³ /分)	15	50	150
型式名	EP-KDH040302	EP-KDH080502	EP-KDH121002
寸法 WxDxH(mm)	500×2,000×550	950×2,000×650	1,100×2,600×1,200
重量(kg)	230	400	820
材質	ステンレス(SS)製焼付塗装チャンパー		
操作条件(圧力損失など)	圧力損失200Pa		
稼働条件(時間/日、日/月)	12時間/日 30日/月		
電源(V)	200(3相)		
消費電力(kW)	0.075		0.150
電気使用量(kWh/月)	18		36
ガス使用量(m ³ /月)	-	-	-
水道使用量(m ³ /月)	-	-	-
施工性			
設置場所	屋外		
必要スペース WxDxH(mm)	800×900×2,000	1,250×1,000×2,000	1,250×1,550×2,600
経済性			
イニシャルコスト(円) (ファン込み価格)	2,500,000 (2,800,000)	3,950,000 (4,500,000)	8,500,000 (9,200,000)
基本ユニット構成(排気ファンは除く)	電気集塵機、脱臭ユニット、初期性能測定、現地までの配送(車上渡し)		
表示価格	標準価格		
設置工事費(円)	200,000~1,000,000	500,000~1,500,000	800,000~2,000,000
ランニングコスト(円/年)	272,000	355,000	480,000
消耗品	脱臭フィルター		
脱臭性能			
メーカー提示情報	メーカー保証値:脱臭効率80~90%(電気集塵機を除く) 実測値:焼肉店 臭気濃度9,800 1,300 脱臭効率87% (電気集塵機を除く)		

問い合わせ対応窓口

神鋼アクテック株式会社 営業部

藤沢 〒251-8551 神奈川県藤沢市宮前100-1 TEL:0466-20-3281 / FAX:0466-20-3215
 大阪 〒541-8557 大阪市中央区北浜2-6-17 TEL:06-6206-7605 / FAX:06-6206-7609
 E-mail:actecp@shinko-actec.co.jp http://www.shinko-actec.co.jp(問い合わせ用画面あり)